

# 2021年3月期 第1四半期決算説明会

2020年7月30日  
株式会社オリエンタルランド



## 東京ディズニーリゾートの再開状況

東京ディズニーランド 東京ディズニーシー	<ul style="list-style-type: none"><li>7月1日より再開(営業時間・内容を変更) ※東京ディズニーランド大規模開発エリアの開業時期は、今後のパーク状況を踏まえながら判断</li></ul>
ディズニーホテル	<ul style="list-style-type: none"><li>6月30日より再開(営業内容を変更) ※東京ディズニーセレブレーションホテル:ディスカバーは引き続き休館中</li></ul>
イクスピアリ	<ul style="list-style-type: none"><li>6月1日より再開(営業時間を変更) ※一部の店舗は4月13日より再開</li></ul>
ディズニーリゾートライン	<ul style="list-style-type: none"><li>引き続き運行中 ※4月6日から6月30日まで運行時間を変更</li></ul>

ゲストとキャストの安全を最優先に考え、再開を判断

# I. 2021年3月期 第1四半期決算概要

代表取締役社長 兼 COO  
上西 京一郎



## 1. 当期実績(前年同期比較)

I. 2021年3月期 第1四半期決算概要

連結損益計算書	(億円)			
	2020/3 第1四半期実績	2021/3 第1四半期実績	増減	増減率
売上高	1,205	61	△ 1,143	△ 94.9%
テーマパーク事業	1,001	51	△ 950	△ 94.9%
ホテル事業	164	1	△ 162	△ 99.1%
その他の事業	39	8	△ 30	△ 77.4%
営業利益	319	△ 156	△ 475	-
テーマパーク事業	271	△ 114	△ 386	-
ホテル事業	37	△ 31	△ 69	-
その他の事業	9	△ 10	△ 19	-
経常利益	327	△ 152	△ 480	-
特別損失	-	211	211	-
税金等調整前四半期純利益	327	△ 364	△ 692	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	229	△ 248	△ 477	-

テーマパークの臨時休園などにより、減収減益



## 2. 営業費用減少の内訳

I. 2021年3月期 第1四半期決算概要

(億円)

営業利益・税金等調整前四半期純利益	2020/3 第1四半期実績	2021/3 第1四半期実績	増減	増減率
営業利益	319	△156	△475	-
特別損失	-	211	211	-
税金等調整前四半期純利益	327	△364	△692	-

利益への影響額

### 営業費用の減

休園期間中の固定費の一部は特別損失へ ※ 197億円

準社員人件費や販売促進費、スペシャルイベント関連費用の減など 71億円

### 臨時休園による損失

△211億円

人件費(休園期間中の一部の人件費など) ※ △79億円

諸経費(休園期間中の一部の業務委託費や休業期間中の固定資産税など) △36億円

減価償却費(休園期間中の減価償却費など) △81億円

飲食売上原価の人件費 ※ や商品・原材料の廃棄など △14億円

### 税金等調整前四半期純利益の減

△692億円

※人件費の特別損失への振替額は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う雇用調整助成金として、受給が確実と見込まれる金額を合理的に算出し控除したものです。

**休園期間中の営業費用の減少に加え、一部の費用は特別損失として計上**

5



## 【参考】事業別営業費用分析(前年同期比較)

[APPENDIX]

(億円)

テーマパーク事業	2020/3 第1四半期実績	2021/3 第1四半期実績	増減	増減率
売上高	1,001	51	△950	△94.9%
営業利益	271	△114	△386	-

(億円)

項目	営業費用の主な増減要因 (前年同期比較)		特別損失の主な増減要因	
人件費	145	特別損失への振替、 準社員人件費の減など	77	休園期間中の一部の人件費 ※
諸経費	69	特別損失への振替、 販売促進費の減、スペシャル イベント関連費用の減など	32	休園期間中の業務委託費、 休園期間中の固定資産税など
減価償却費	68	特別損失への振替など	72	休園期間中の減価償却費
その他			14	飲食売上原価の人件費 ※、 商品・原材料の廃棄など

※人件費の特別損失への振替額は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う雇用調整助成金として、受給が確実と見込まれる金額を合理的に算出し控除したものです。

**準社員人件費の減や諸経費の減などに加え、一部の費用は特別損失として計上**

6



## 【参考】事業別営業費用分析(前年同期比較)

[APPENDIX]

ホテル事業	(億円)			
	2020/3 第1四半期実績	2021/3 第1四半期実績	増減	増減率
売上高	164	1	△ 162	△ 99.1%
営業利益	37	△ 31	△ 69	-

(億円)				
項目	営業費用の主な増減要因 (前年同期比較)		特別損失の主な増減要因	
人件費	23	特別損失への振替、 労働時間の減による減など	1	休館期間中の一部の人件費 ※
諸経費	9	修繕費の減、 特別損失への振替など	3	休館期間中の固定資産税など
減価償却費	7	特別損失への振替など	7	休館期間中の減価償却費

※人件費の特別損失への振替額は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う雇用調整助成金として、受給が確実と見込まれる金額を合理的に算出し控除したものです。

**労働時間の減による減などに加え、一部の費用は特別損失として計上**

## II.新型コロナウイルス感染症流行への対応



### 臨時休園中の対応

### II. 新型コロナウイルス感染症流行への対応

オペレーション準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディズニー社と連携し、ゲストやキャストの安全・安心を最優先した運営方法を検討</li> <li>実践的な形式でキャストのトレーニングを実施</li> </ul>
財務体質の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月15日に2,000億円のコミットメントライン契約を締結</li> </ul>
ゲスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月26日から6月24日まで「東京ディズニーリゾートショッピング」でパーク内グッズを購入していただける機会を提供</li> <li>6月1日よりイクスピアリの営業を再開</li> <li>6月25日よりパーク外商品店舗「ボン・ヴォヤージュ」の営業を再開</li> </ul>
従業員・役員	<ul style="list-style-type: none"> <li>準社員・出演者に対する臨時の特別休業手当を9月まで延長</li> <li>5月18日より社員の一時帰休を開始</li> <li>6月より役員報酬を減額 ※5月までは自主返納</li> <li>管理職の夏季賞与の一部を減額</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県と浦安市にレインウェアを提供</li> </ul>

安全・安心なパークの再開に向けてパークのオペレーションと財務面を整備

<b>全体</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康管理とソーシャルディスタンスの確保</li> <li>入園者数の制限、パーク運営時間の短縮、入園時間指定パスポートの導入</li> <li>スペシャルイベント、スペシャルプログラムの中止</li> </ul>
<b>アトラクション</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部屋内施設、インタラクティブなアトラクション施設のクローズ</li> </ul>
<b>エンターテイメント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターグリーティングの方法を変更</li> <li>ショーやパレードの中止</li> </ul>
<b>フード</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メニューを確認できる二次元コードの導入</li> <li>食事中にマスクを保管できるマスクケースの提供</li> </ul>
<b>商品</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「東京ディズニーリゾートショッピング」の利用を促進</li> <li>クレジットカードや電子決済などキャッシュレスでの支払いを推奨</li> <li>会計時にゲストとキャストの間にシールドを設置</li> </ul>
<b>ディズニーホテル</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公式アプリのオンラインチェックイン機能の利用を推奨</li> </ul>



立ち位置を示す目印



アトラクション体験の様子



メニューを確認できる二次元コード



キャラクターによるご挨拶の様子

**ゲストとキャストの安全・安心を最優先に考えた運営方法を導入**

※こちらは7月中旬時点の業績の状況であり、今後の傾向を表すものではありません。

<b>テーマパーク</b>	<b>入園者数</b> ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>再開日から入園者数制限を段階的に引き上げ、通常時の50%以下の入園者数で運営</li> <li>首都圏を中心に高需要</li> </ul>	+	<p>ダッフィー＆フレンズ 新キャラクター「オル・メル」(画像左)</p>		
	<b>ゲスト1人当たり売上高</b> ↑	<b>チケット</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>4月1日付の価格改定による増</li> <li>券種の限定による一時的な増</li> </ul>	<b>今後の変動要素</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間パスポート所有者の入園による減</li> </ul>
		<b>商品</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>臨時休園期間中に販売できなかったイベントの商品好調による一時的な増</li> <li>ダッフィー＆フレンズ新商品販売による増</li> <li>一部店舗クローズによる減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時的な高需要の落ち着きによる減</li> </ul>
	<b>飲食</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時的なテーブルサービス利用率の増加による増</li> <li>パーク運営時間の短縮による減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カウンターサービスやワゴンの利用率増による減</li> </ul>			
	<b>ディズニーホテル</b> ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>チケット数に応じた客室販売に伴う宿泊者数の制限</li> <li>宿泊者限定の特典や営業内容の変更</li> </ul>				

※矢印は全て前年同期比較です。

**入園者数の制限により売上が減少し、営業利益はマイナスの状況**



### 売上

#### 入園者数

- 入園者数の制限を徐々に緩和するものの、利益よりもゲストとキャストの安全・安心を最優先し、高い体験価値を維持するために、引き続き入園者数を制限
- 今後のパーク状況を踏まえながら、パーク運営時間の延長や東京ディズニーランド大規模開発エリアの開業時期等を判断

### コスト

#### 2020年度の固定費の傾向

#### 人件費 ↓

- 労働時間の減少
- 従業員の配置転換による生産性向上
- 雇用調整助成金の申請・受給

#### 減価償却費 ↑

- 東京ディズニーランド大規模開発エリアを開業すると増加

#### その他の固定費 ↓

- 販売促進費など入園者数の減少に応じたコスト削減の実施
- 新型コロナウイルス感染症防止のためにスペシャルイベント・プログラムを中止した結果減少

※矢印は全て前年同期比較です。

#### 緊急的かつ期間限定組織として社長直下の「コストコントロールチーム」を組成(2020年6月)

全社的な収益レベルやキャッシュフローを見極めながら、経費や投資、人件費等のコストについて、足もとの状況と長期的な視点を踏まえた上で、迅速かつ厳格に精査・コントロールを推進

#### 「コストコントロールチーム」で固定経費・諸経費の大幅な削減を検討

### 単価向上

- 新たなチケット戦略の検討
- パーク内におけるゲストの「体験」を新たな収益源にするための検討

### 投資計画

- 2021年度、東京ディズニーシーで新規エンターテイメント「ビリーヴ！～シー・オブ・ドリームス～」を導入
- 「トイ・ストーリー」シリーズをテーマとする新たなディズニーホテル、「ファンタジースプリングス」の開業時期は予定通り
- 緊急性が低い更新改良工事については中止／縮小／先送りを検討



### 新規事業

#### 新子会社「株式会社オリエンタルランド・イノベーションズ」の設立(2020年6月5日)

- 舞浜一極集中に伴うリスクへの対応
- 「夢・感動・喜び・やすらぎ」のある社会作りに寄与する事業の創出を目的に、小規模なマイノリティ投資ののち、確信を持たた分野の研究を進め、新規事業の成功確率を高める
- 今回の新会社設立に限らず、引き続き長期的視点で成長が期待される事業領域への調査研究を継続し、OLCグループの永続的な成長に寄与すべく幅広く検討

#### 2021年3月期の業績予想および2020中期経営計画については第2四半期決算発表時に開示予定



**株式会社オリエンタルランド 経理部IRグループ**

047-305-2034 [www.olc.co.jp](http://www.olc.co.jp)

**注意事項:**

本資料は、OLCグループの業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料にて開示されているデータは、発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。当社グループの事業は、顧客嗜好・社会情勢・経済情勢等の影響を受けやすい特性を持っているため、本資料で述べられている予測や見通しには、不確実性が含まれていることをご承知おきください。

テーマパーク入園者数については単位未満を四捨五入、財務データについては単位未満を切り捨てて記載しています。

本資料の転載はご遠慮ください。